

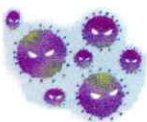


年末手当「基準内賃金の2.0ヶ月」12月3日支給

2019 年末手当=3.18  
2020 年末手当=2.2

## コロナ禍だからこそ 公共交通の重責を考慮

今年の10月にはウイルス対策の影響でコロナ感染が急減しましたが、国としても第6波に備えて医療の逼迫(ひっばく)を避ける為、体制を強化しています。鉄道業務に従事している私たちも、医療現場で働く仲間たちと同様に感染対策を強化。さらに、公共交通としての移動手段の重要性を考慮しながら職務に従事していますが、賃金は低下しています。



## 年末手当等の減額は、家計にダメージ

### 2021年度賃金アンケート調査から

そういった中、毎年9月の賃金アンケート調査を分会集約してみました。新小岩保線分会の組合員数18名、平均年齢が62歳となり、貯蓄目的に対して「病気災害の備え」「老後の備え」が集中し、高齢化に対する不安が増えました。毎月の赤字に対して分会集約したところ下記の通りでした。

2021年度賃金・生活実態アンケート調査 (2021年9月) 国労分団研究

◎調査の対象者は、「専任社員、退職前職、退職後及び契約社員等」の組合員を除く全組合員と生活保護受給者です。  
◎記入された内容については、「個人情報保護法」を準拠し本調査以外には使用しません。  
◎各設問に対する回答では、設問によって、選択式と記述式があります。選択式の設問では、該当する番号に○をつけてください。また、記述式の設問については、所定の回答欄に記入してください。  
◎最終年度は退職・再雇用者の過半数を記入してください。

(基本情報)  
 地方自治体名 千葉 分会名 新小岩保線 業種 鉄 職種 車

(質問事項)  
 1. (1) 毎月の生活の中で「赤字」がありますか。 (○はいくつでも)  
 1. あり 2. なし  
 (2) 赤字が「あり」と回答した人にお尋ねします。赤字額は月平均でどのくらいになりますか。 5万3000円

2. 赤字の補てんはどの様にしていますか。(○はいくつでも)  
 1. 金融機関などからの借入れ 2. 親・知人などからの借入れ  
 3. 夏期・年末手当(または・年末など)を充当 4. 貯蓄の引き出し  
 5. その他(退職金)

約半分。定期昇給や夏期・年末手当が厳しい回答を明示されて生活実態に影響を及ぼしています。

## JR東日本発足以降、初の「低額回答」に抗議

JR東日本が年末手当の支給額を「2.0ヶ月にする」と回答しました。JR発足以降として最低な回答です。余談ですが、年末手当の最高額は2007年の3.25ヶ月。同年JR貨物の年末手当は同じ2.0ヶ月で1.25ヶ月差でした。

感染対策を考慮し、公共交通の重責を意識しながら職務に従事した結果がこの回答です。確かに、コロナ禍の影響により厳しい経営現状ですが、宣言が解除され鉄道利用者も徐々に増え、前年を上回る営業収入となっています。こういった事態に社内に貯め込んだ利益(内部留保)を社員の期待に応える為に使おうとしないのか?社員家族の生活実態を無視しての回答で納得できません。

## 55歳未満のJR社員の皆さん! これで良いのでしょうか?

### 私たち皆JRに生きている!

賃金制度である「号俸」は、JR東日本発足と同時に誕生しました。普通に勤務していれば定期昇給(以下定昇)「4号俸」アップが所定でした。2012年度より新賃金制度で「号俸」が廃止され、職名等級で「昇給係数4」を定昇として改正しました。年末手当もそうですが、今年初JR東日本だけが「定昇半分カット」です。要するに「係数2」と胡麻化しているように思います。どのJR会社も同じような定昇を下げずに実施していますが何故、JRグループ7社の中で一番儲けているJR東日本だけが定昇半分なのか?JR34年の歴史で経験したことのないことをやってきたことは、やはり「労働組合がないことを逆手にとって一方的に実施したのか?」とも考えます。

私たち皆JRに生きています!だからこそ安心して働き続ける為にも国労に加入することを強く訴えます。



### ■赤字について (回答13人)

- ・毎月の赤字がある...7人
- ・赤字がない...6人

～赤字の月平均額...5万3000円～

### ■赤字の補てん(赤字のある7人から2つ選択)

- ・金融機関などから借入れ...0人
- ・知人からの借入れ...0人
- ・夏期・年末手当を充当...6人
- ・預貯金の引き出し...7人
- ・その他(退職金)...1人

赤字の補てんで「夏期・年末手当を充当」が「預貯金の引き出し」に続き2番目です。

エルダー社員の基本賃金はJR社員時と比べ